

登録コード	T1031300	開講年度	2026				
授業科目	化学英語(16T以降)					担当教員	錦織 広昌
英文授業名	English for chemistry					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	物質化学科3年生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	
備考	1年次の英語の未修得者を対象とする						
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】	
	2 1 Tカリ						
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。					化学に関する英文の読解ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	物理化学に関する基本的な英語の教科書を読んで理解する。						
(5)授業計画	1. 授業の概要説明 2. 物理化学関連英語の基礎 3. 気体の性質（完全気体） 4. 気体の性質（実在気体） 5. 第一法則（仕事・熱・エネルギー） 6. 第一法則（エンタルピー） 7. 第一法則（熱化学） 8. 第一法則（状態関数） 9. 第一法則（さまざまな熱化学過程） 10. 第二法則と第三法則（自発変化の方向） 11. 第二法則と第三法則（エントロピー） 12. 第二法則と第三法則（さまざまな過程のエントロピー変化） 13. 第二法則と第三法則（自由エネルギー） 14. 第二法則と第三法則（内部エネルギーの性質） 15. 第二法則と第三法則（自由エネルギーの性質）、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	成績評価は授業中の質疑応答による理解度を100点満点として評価する。90点以上を秀、89 - 80点を優、79 - 70点を良、69 - 60点を可とする。 出欠の確認には「出席確認システム」を利用する。						
(7)成績評価の基準	英文テキストの内容を概ね理解し、和訳ができれば「水準にある」、英文の内容を十分に理解し、適切な和訳ができれば「やや上にある」、さらに詳細な内容を適切に説明できれば「かなり上にある」、テキスト全体にわたってより詳細な内容を適切に説明できれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	次の授業範囲の内容を和訳しておく。						
(9)履修上の注意	本科目は、1年次の英語科目を未修得の学生向けの科目である。履修登録の際には、授業担当教員に必ず相談すること。						
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。アドレス：nishiki@shinshu-u.ac.jp						
(11)その他							
【教科書】	授業中に配付する						
【参考書】	アトキンス 物理化学（上）第10版 アトキンスら著、中野ら訳、東京化学同人、5,700円 + 税						